

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	ポンプ車の機関員として出動中、道路冠水箇所侵入による走行不能事例
3. 体験した事例の中心的要素	管内で大雨による道路冠水、床下浸水が発生する気象状況であった。警防隊は風水害の調査出向中、出動要請【PA連携(救急支援)】を受け、用務出向先より出動する。出動途上、道路冠水箇所があり、通行可能と判断し進入したが、急にエンジンが停止しポンプ車が走行不能となったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	道路冠水箇所の深さなどを確認せず、また減速もせずに冠水箇所に侵入したためエアークリーナーからエンジンに水が入りエンジン停止したもの。自動車整備会社に確認すると、エアークリーナーの吸い込み口は車両前部のバンパー付近にあり、エアークリーナー底部に水が浸入した場合走行不能になる場合があると聴取。

### 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。 状況判断に問題があった。 行動の意志決定に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	--

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成25年8月23日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：県道上、道路冠水箇所
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：ポンプ車走行不能
7. 事例体験時の活動	救急出動途上
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：警防隊が風水害の調査で用務出向中、救急隊からPA連携要請がありその出動途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[49]歳、勤続年数[28]年、現場経験年数[28]年、階級[消防司令] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[54]歳、勤続年数[36]年、現場経験年数[36]年、階級[消防司令] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[23]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[6]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	機関員としてポンプ車運転中、冠水箇所に侵入して走行不能になった。	
経過2	B	前方に道路冠水があるので注意するように指示する。	
経過3	C	冠水部分を車内から注視していた。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

冠水箇所前で停車し、状況を確認し。無理に冠水箇所に侵入しない。  
「だろろ運転」ではなく、十分状況確認し、車両運行する。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



車両フロント下部

